

4 ふるさと・キャリア教育

具体的な内容		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員(学校評議員)のコメント		
ふるさと鹿角(平元)のよさを知り、ふるさとでたくましく生きようとする夢や希望をもっている	前期	おおむね 良好	良好	「かがやき集会」では、体験、調査したことについて工夫したまとめ方がなされ、学びから得た自分の考えをしっかりと述べる様子がうかがえた。ただ、状況に応じてマイクを活用することも考えられる。今年度は、地域のよさを見つめ、子どもの思いを生かした酪農体験や福祉施設での交流、伝統文化クラブの創設など、新たな試みも大きな成果があった。市内の小規模校で歌声やハンドベルを福祉施設で披露し、賞賛を得ている事例があるが、本校でも歌の披露とともに収穫したリンゴをプレゼントするなどの活動があってもよい。今後もアップル活動など伝統のよさを生かしつつ、子どもの思いを大事にした活動を計画的かつ有効な取組となるように配慮し、ふるさと・キャリア教育を推進してほしい。また、あおぞらこども園との交流も充実させてほしい。		
	年度	おおむね 良好				
評価指標			主な取組		自己評価B	
					前期	年度
⑦郷土愛に満ちた児童の育成			かがやきタイムの充実 地域素材の積極的活用 学習成果の発信		4	4
⑧キャリアに関する基礎的・汎用的能力の育成			就学前教育との連携 北小との連携 二中との連携 将来の「夢・希望」		3	3

学校の改善策	【前期→後期】
	⑦ アップル活動では、受粉、摘果、袋がけと、上学年が下学年の面倒をみながらペア学年で協力して活動することができた。りんごのシール貼りでは、感謝の言葉、来年度の新入生に歓迎の言葉、中学生に受験合格の言葉などが浮き出るように、新たにシールの図柄を工夫した。また、各学年のテーマ活動では、米作り、果樹センター見学、酪農体験など、地域に目を向けた活動を活発に行うことができた。 ⑧ 夢や希望をもって努力する気持ちを高めるため、児童個々の将来の夢カードを掲示することを継続してきた。北小と合同の芸術教室では、ワークショップの際に北小、平小の児童をペアで組ませるなど、交流、連携を深める手立てをとった。今後も、北小との連携を深める活動を増やしていきたい。
	【後期→次年度】
	⑦ 後期のアップル活動では、袋外し・シール貼り、収穫の他に、葉切り作業が加わったが、全校で協力しながらしっかりと取り組むことができた。4・5年生は、高速道路SAで交通安全の呼びかけとともに、りんごと米の販売を行い、多くの人たちに平元のPRをすることで、自分たちの地域のよさを再認識することができた。また、各学年毎に地域に目を向けた活動を行った。駅や図書館、スーパーマーケット等の施設を見学したり、講師を招いてそば打ち体験をしたりと、有意義な活動を行うことができた。 ⑧ 1・2年生は北小と交流学習を行い、統合に向けたよいステップとなった。二中との交流では、地区ごとのボランティア活動を実施し、地域に目を向けた取組をすることができた。3年後の統合を見据えて、北小との交流や連携をさらに進めていけるようにしていきたい。また、引き続き、就学前教育との連携や小中連携を推し進めていきたい。

【各種データ】

保護者アンケート		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
⑩	学校は様々な行事が充実しており、子どもたちが活躍する場となっている。	3.7	100	3.6	100
児童アンケート		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
⑦	アップル活動や地域とかかわる学習に積極的に取り組んでいますか。	3.9	100	3.9	100
職員個人評価		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
⑦	かがやきタイムの充実 地域素材の積極的活用 学習成果の発信	3.4	100	3.4	100
⑧	就学前教育との連携 北小との連携 二中との連携 将来の「夢・希望」	2.7	78	3.3	100
かがやきタイムに関する児童アンケート(3～6年)		H28		H29	
		平均	肯定率	平均	肯定率
1	作文や図や表・グラフなどを書いて伝えること	3.3	91	3.6	96
2	自分の気持や考えなどを話して伝えること	3.2	91	3.1	84
3	質問したり、インタビューしたり、呼びかけたりすること	3.1	76	3.3	88
4	計画を立て、進んで行動すること	3.3	87	3.5	92
5	友だちの意見や考えを聞いたり、話し合ったりすること	3.4	93	3.5	90
6	友だちや他の学年の人と協力して活動すること	3.7	93	3.6	96
7	疑問に思ったことを調べたり、よりよい方法を工夫したりすること	3.2	87	3.3	86
8	自分の活動を振り返り、次の活動に生かすこと	3.3	89	3.5	94
9	働くことの大切さを考えること	3.5	91	3.7	98
10	自分の将来の生き方を考えること	3.3	82	3.4	92

自己評価A及び外部評価の評価区分	
○きわめて良好	
○良好	
○おおむね良好	
○やや不十分	
○努力を要する	

自己評価Bの評価基準	
5	実現状況は極めてよく意識も高い／達成率91%以上、前年度比108%以上
4	実現状況は良好で意欲もある／達成率80～90%、前年度比103～107%
3	実現状況は概ね良好／達成率60～79%、前年度比98～102%
2	実現状況はやや不十分で取り組みが不安定／達成率50～59%、前年度比93～97%
1	実現状況は不十分で努力を要する／達成率49%以下、前年度比92%以下